

11月14日は「世界糖尿病デー」 放っておくと恐ろしい糖尿病！しめじに注意！

糖尿病は、初期段階では、痛みや苦しみなどの自覚症状がほとんど伴わないため、その恐ろしさを実感しにくく、放置されることが多い病気です。しかし、放置すると「三大合併症」を引き起こす可能性があり、大変危険です。

- ㊟ 神経の病気 糖尿病性神経障害：進行すると、足指切断の恐れもあります。
- ㊟ 眼の病気 糖尿病性網膜症：進行すると、失明する恐れがあります。
- ㊟ 腎臓の病気 糖尿病性腎症：進行すると、人工透析が必要になります。

【糖尿病重症化予防の取り組み】

・町では、重症化リスクが高いと健診結果が出た方のうち、精密検査未受診者や受診中断者に対して医療機関受診を促しています。また、健診を受診された方へ、保健師・管理栄養士による保健・栄養指導、協力医療機関との連携による糖尿病重症化予防に取り組んでいます。重症化を防ぐため、ぜひ下記まで問い合わせください。

【問い合わせ先】

保健福祉課健康推進係 ☎0137-64-2111
熊石総合支所住民サービス課 ☎01398-2-3111
八雲保健所企画総務課 ☎0137-63-2168

～支える人をひとりにしない～

「ケアラー支援講演会」が開催されます

現代は、家族介護に関する課題の多様化と、個々が抱える介護や援助の負担感もさまざまであり、ケアラーが抱える課題は複合化しやすいという特徴があります。

町では、ケアラー支援に関わる関係機関向けに、ケアラー支援の基礎知識から具体的な支援の考え方を学ぶことを目的に講演会を開催します。関係者向けではありますが、どなたでも参加できますので、参加を希望される方は電話もしくは、下記二次元コードから申込みください。

※ケアラーとは、こころやからだに不調のある家族の「介護」「看病」「世話」「気づかい」などをする人のことです。また、ヤングケアラーとは、本来大人が担うような家事や家族の介護などを日常的に行っている18歳未満の子どもを指します。

【日 時】 11月28日(木) 午後3時30分～5時

【場 所】 シルバープラザふれあいホール

【講演テーマ】 「ケアラーとその支援を学ぶ」

【講 師】 なかむらけんじ 中村健治氏

(北海道社会福祉協議会 北海道ケアラー支援推進センター センター長)



(申込みフォーム)

【申込・問い合わせ】

保健福祉課包括支援係（シルバープラザ内） ☎0137-65-5001